

令和3年度事業報告書

1 役員（令和4年3月31日現在）

代表理事	1名	理事	3名
常務理事	1名	監事	2名

2 社員（令和4年3月31日現在） 5社

3 総会・理事会の開催

（1）定時社員総会 書面決議

日 時 令和3年5月26日

報告事項

令和2年度事業報告、計算書類、公益目的支出計画実施報告書、監査報告について

決議事項

第1号議案 令和2年度決算について

第2号議案 定款第12条第1項の会費について

第3号議案 役員を選任について

（2）理事会

第1回 書面決議

日 時 令和3年5月10日

提案事項

第1号議案 令和2年度事業報告及び決算について

第2号議案 公益目的支出計画実施報告書について

第3号議案 定款第12条第1項の会費について

第4号議案 役員補充（選任）について

第5号議案 令和3年度定時社員総会の取扱いについて

第2回

日 時 令和3年10月18日

場 所 農業土木会館内会議室（Web併用）

提案事項

第1号議案 事業報告書（令和3年4月1日～令和3年9月30日）について

第2号議案 事業計画書（令和3年10月1日～令和4年3月31日）について

第3回 書面決議

日 時 令和4年3月18日

議 事 第1号議案 令和4年度定時社員総会の開催について

第2号議案 令和4年度事業計画書及び収支予算書について

4 部会並びに事業活動

(1) 部会活動

1) 企画委員会

令和3年4月21日に令和3年度第1回理事会及び定時社員総会提出議案について審議した。

令和4年3月3日に令和3年度第3回理事会提出議案について審議した。

2) 編集委員会

会誌「JACEM」第72号、第73号の編集を行うと共に、74号の編集方針について審議した。

(2) 事業活動

<継続事業>

1) 会誌発行事業

会誌「JACEM」第72号、第73号を発刊し、配布した。

第72号では、新たな土地改良長期計画についての解説、淀川水系等における農業水利システムの課題と展望についての報文、実施例として大井川土地改良区の小水力発電施設の維持管理について掲載した。

また、自主研究から水管理システムへのクラウド導入検討チェックリスト（試案）を掲載した。

第73号では、農業農村整備に関する技術開発計画の概要の解説、信濃川水系土地改良調査管理事務所における調査計画、小水力発電における長野県の取組及び、適正化事業の仕組みと実施状況についての報文、実施例として曾於南部地区における小水力発電の取組みについて掲載した。

このほか、技術小講座として、音・振動診断システムの実用化に向けてについて掲載した。

2) 調査研究事業

JACEM自主研究会の開催に向け、水管理制御設備の課題に関する情報収集等を行ったほか、以下の活動を行った。

- ① 農業農村整備サマーセミナー（Web）への参加
- ② 農業農村工学会大会（Web）への参加

③ 東京フォーラム（Web）への参加

3) 開発・普及事業

技術研修等に関する次の業務を実施した。

① 施設機械実践技術研修業務（関東農政局）

施設機械設備の計画、設計、施工、管理等に関する業務を円滑に推進するために必要な専門技術の習得を目的とした研修を行った。

② 土地改良施設機械研修（機械設備）業務（関東農政局）

施設機械分野の指導的役割を担う技術者を養成するための研修を行った。

<その他主要な事業>

1) 技術検討事業

① 技術検討業務

関東農政局管内において、ポンプ設備実施設計業務2件を実施した。

② 技術支援業務

関東農政局、北陸農政局、近畿農政局及び中国四国農政局管内において、施設機械設備設計施工技術支援業務を実施した。

東北農政局及び東海農政局管内において、施設機械工事技術支援業務を実施した。

③ 承諾図書照査業務

九州農政局管内において、ポンプ設備、小水力発電施設に係る承諾図書照査業務を実施した。

2) 出版事業

「電気設備計画設計技術指針（高低圧編）（令和元年度版）」等、過年度に刊行した図書を販売した。

5 研修、調査等

(1) 技術者の研修、調査への対応

1) 全国土地改良事業団体連合会開催の「令和3年度土地改良区体制強化事業施設管理研修（前期）」のゲート設備研修へ講師を派遣した。

2) 農業土木事業協会開催の「農業水利施設機能総合診断士講習会（ゲート設備）」へ講師を派遣した。

3) 近畿農政局開催の「令和3年度実践技術研修 ストックマネジメント技術（施設機械）」に講師を派遣した。

(2) 技術研修会等への参加

次の研修会等に参加した。

- ① 農業農村整備情報総合センター (ARIC) セミナー (Web)
- ② 関東農業土木技術士会講演会

以 上

(なお、令和3年度事業報告の附属明細書をもって補足する事項はありません。)

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,509,354	41,263,359	△ 29,754,005
未収金	48,419,000	20,805,000	27,614,000
貯蔵品	2,530,222	2,681,357	△ 151,135
仮払金	0	3,490,603	△ 3,490,603
流動資産合計	62,458,576	68,240,319	△ 5,781,743
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	16,276,790	14,013,890	2,262,900
特定資産合計	16,276,790	14,013,890	2,262,900
(2) その他固定資産			
電話加入権	47,139	47,139	0
保証金	7,280,000	7,280,000	0
その他固定資産合計	7,327,139	7,327,139	0
固定資産合計	23,603,929	21,341,029	2,262,900
資産合計	86,062,505	89,581,348	△ 3,518,843
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	233,306	299,688	△ 66,382
前受金	0	2,500,000	△ 2,500,000
預り金	17,658	0	17,658
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	760,900	2,907,500	△ 2,146,600
流動負債合計	1,081,864	5,777,188	△ 4,695,324
2. 固定負債			
退職給付引当金	16,276,790	14,013,890	2,262,900
固定負債合計	16,276,790	14,013,890	2,262,900
負債合計	17,358,654	19,791,078	△ 2,432,424
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	68,703,851	69,790,270	△ 1,086,419
負債及び正味財産合計	86,062,505	89,581,348	△ 3,518,843

正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	137	124	13
受取会費	3,000,000	3,000,000	0
事業収益	84,194,480	99,476,660	△ 15,282,180
会誌発行事業収益	400,000	400,000	0
開発・普及事業収益	5,885,000	1,980,000	3,905,000
技術検討事業収益	77,517,000	96,415,000	△ 18,898,000
出版事業収益	392,480	681,660	△ 289,180
雑収益	72	424	△ 352
受取利息	20	263	△ 243
雑収益	52	161	△ 109
貯蔵品増加額	0	1,007,520	△ 1,007,520
経常収益計	87,194,689	103,484,728	△ 16,290,039
(2) 経常費用			
事業費	60,313,939	62,913,660	△ 2,599,721
人件費	45,899,520	43,116,180	2,783,340
事務費	14,414,419	19,797,480	△ 5,383,061
管理費	27,746,034	24,278,178	3,467,856
人件費	17,946,848	13,801,659	4,145,189
事務費	9,799,186	10,476,519	△ 677,333
貯蔵品減少額	151,135	652,479	△ 501,344
経常費用計	88,211,108	87,844,317	366,791
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,016,419	15,640,411	△ 16,656,830
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,016,419	15,640,411	△ 16,656,830
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,016,419	15,640,411	△ 16,656,830
法人税等充当額	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,086,419	15,570,411	△ 16,656,830
一般正味財産期首残高	69,790,270	54,219,859	15,570,411
一般正味財産期末残高	68,703,851	69,790,270	△ 1,086,419
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	68,703,851	69,790,270	△ 1,086,419

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法については、個別法による原価法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金の計上基準は、期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借り主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっている。

(5) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、預り金、未払法人税等、未払消費税を含めることとしている。

2 特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高
退職給付引当資産	14,013,890	2,262,900	0	16,276,790
合 計	14,013,890	2,262,900	0	16,276,790

3 特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高	(うち指定財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
退職給付引当資産	16,276,790	—	(0)	(16,276,790)
合 計	16,276,790	—	(0)	(16,276,790)

4 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の当期末残高
未収技術検討事業費	48,419,000	0	48,419,000
合 計	48,419,000	0	48,419,000

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1 特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給付引当資産	14,013,890	2,262,900	0	16,276,790
	特定資産計	14,013,890	2,262,900	0	16,276,790

2 引当金の明細

退職給付引当金

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	14,013,890	2,262,900	0	0	16,276,790
合計	14,013,890	2,262,900	0	0	16,276,790

財 産 目 録

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	161,305
	預金	当座預金 みずほ銀行 三菱UFJ銀行	運転資金として	11,203,713
			運転資金として	9,626,816
			運転資金として	1,576,897
		ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	144,336
	未収金		技術検討事業の年度末未収金	48,419,000
貯蔵品		販売図書の棚卸資産	2,530,222	
流動資産合計				62,458,576
(固定資産)	特定資産			16,276,790
	退職給付引当資産	三菱UFJ銀行	役員3名に対する退職金の支払に備えた積立資産	16,276,790
	その他固定資産			7,327,139
	電話加入権			47,139
	保証金	(株)農業土木会館	事務所賃貸借契約にかかるもの	7,280,000
固定資産合計				23,603,929
資産合計				86,062,505
(流動負債)	未払金		技術検討事業及び管理目的の業務の小口費用3件	233,306
			令和3年度確定賃金による労働保険の精算未払分	79,145
	預り金		令和3年度確定賃金による労働保険の精算未払分	154,161
	未払法人税等		社会保険料	17,658
	未払消費税			70,000
流動負債合計				760,900
流動負債合計				1,081,864
(固定負債)	退職給付引当金		役員3名に対する退職引当金	16,276,790
				16,276,790
固定負債合計				16,276,790
負債合計				17,358,654
正味財産				68,703,851